

日本共産党

浦和区

日本共産党浦和区後援会ニュース
2015年2月号・No.44
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX048-833-4515
★★★★(部内資料)★★★★

地元住民の切実な要望実現を!!

浦和区の予算要望への いくつかの回答について

さいたま市議候補：とりうみ 敏行



1.11 全県総決起集会で壇上に立つとりうみ候補

党市議団は、毎年11月には、市の翌年度予算編成に合わせて700項目を超える予算要望書を市長に提出し、その回答を求めています。

この予算要望には、さいたま市全体にかかわるもの以外に、各行政区別の要望も提出しています。

昨年11月に提出した浦和区の予算要望は11項目で、従来からの要望のほか、「領家3丁目地域に街区公園を整備すること」を求める要望や、「元町1丁目、古藤医院前の交差点信号機設置を求め、当面の安全措置を行うこと」、「本太2丁目歩道の段差を解消し、歩行者の安全を図ること」など、昨年の市民アンケートで寄せられた要望も提出しました。

これらの要望に対する市の回答が、1月27日に党市議団へ寄せられました。

領家3丁目公園要望では、「周辺の公園整備及び利用状況を勘察し、検討する。」

信号機設置は、「要望に基づいて所轄警察署へ伝え、道路安全施策については適宜設置する」、段差解消では、「引き続き地権者と交渉する」などの回答となっています。

これからも、地域の党支部や後援会のみなさんと一緒に署名運動を広げながら、地元住民の切実な要望実現に向けて頑張ります。

「市民要求にもとづくさいたま市のまちづくり」

—市政学習会に参加して—

領家：石川 清隆

さいたま市の福祉や教育、医療が政令都市の中で軒並み最下位の19番目であることは情けなくも残念

なことであり、何とかしてもらいたいと思います。

しかし、学習会に参加し、私たちは個別の問題ばかりに一喜一憂するだけでなく、市政の基本的なまちづくりプランを知り、そこに住民サイドからの批判を加え、かつ、私たちの望むまちづくりを要求していくことが大事だと教えられました。

学習会では、塩沢氏の「市民意識調査」の報告、岩見氏の「さいたま市のまちづくり」の報告、2氏の基本報告を受けて、戸島議員から共産党市議団の一斉地方選にあたっての「まちづくり政策」の提案がありました。3氏の報告・提案で印象的だったことは、

- ① さいたま市で人口減・高齢化が進み、2050年には65歳以上が3分の1になる。それに伴い生活基盤の貧困化が到来する。(医療難民、交通難民、買い物難民など)
 - ② 豊かなまちづくりをイメージし、居住地域のマスタープランをつくる。真に豊かなまちづくりとは、豊かな活動を保証し、自由な時間、豊かな空間(場所)、人と人の関係(縁)をつくり出す豊かな人間(じんかん)があるまちが豊かなまちである。
 - ③ 2都心4副都心構想に基づく大型拠点開発の見直し、財源は予算組み替えをしてつくる。
- 今度の選挙でこの学びを生かしていきたいと思った。

生き生きする社会づくりを期待します

元テレビ東京キャスター宮崎絢子さんを訪問

後援会ニュース編集部では新年年暮明け早々、浦和区にお住まいで長らくテレビ東京でアナウンサー、キャスターで活躍されていました宮崎絢子さんにインタビューをお願いしました。宮崎さんはお仕事の傍ら、マスコミ九条の会の呼びかけ人、日本ジャーナリスト会議（JCJ）の代表委員を務められるなど、平和運動にも積極的に活躍されています。また退職された後もユニークなヴォイストレーニングを開講するなど現在も多方面で活躍されています。



Q. 女性キャスターの草分けと言われていますが、経歴をお願いします。

はじめ中部日本放送にアナウンサーとして入局しました。大学は女子大でお見合い写真をとって卒業時には決まっている人もいたという時代で、就職する人は殆どいませんでした。私は両親とも教師をしていたので、仕事をするのが当然と思っていたのです。1964年、東京オリンピックの年にテレビ東京12チャンネルの開局にもなって、移籍しました。

当時はすべて生放送ですから大変でした。日勤、夜勤の繰り返しで、殆ど休みはとれません。夏休みが11月頃なんていう笑い話もあります。

今でこそ1週間休みななんて当たり前になっていますが、当時は3日休んだら何だと言われる時代でした。キャスターは契約の方、フリーの方など番組専属の方が多いのですが、私の場合は、局アナですから、取材、現地レポート、特集番組など何でもやりました。そういう時に大変なのは、体力維持もそうですが、頭の切り替えも大変です。また常に社会現象にアンテナをは

っていないといけないし、事前調査もしなければなりません。睡眠時間は夫の母の介護をしながら勤めていた時は平均3時間半位の時もありました。ですから、現職を辞めた時、あー普通の生活ってなんていいんだろうと思いましたね。

Q. JCJ代表委員やマスコミ九条の会の呼びかけ人をなされていますが、どういうきっかけだったのでしょうか？

テレビ東京に入ってからすぐに200人合理化闘争がありました。組合活動が大変活発な時代でしたから、私もすぐに組合に入っているいろいろ勉強し活動しました。女性は結婚したら会社を辞めさせるとか、女性というだけで様々な差別があるのに怒りの声を上げて反対運動を続けてきました。JCJでは、まだ女性の参加者が少ないということもありましたが、長く活動していたことから代表委員に推されました。また私は以前から憲法9条を守るのは当然だと思っていましたので、マスコミ九条の会には自然にかかわるようになり呼びかけ人にもなりました。今マスコミに働くみなさんは、仕事が激しく変化しますからなかなかそうした活動をする時間が取れず大変だと思います。

Q. 安倍首相の新聞、放送局等経営者との会食をどう思われますか？

それによって簡単にいいなりになるということはないと思いますが、自主規制はおこりうると思います。安倍さんはちょっと多いですね。それだけメディアを味方につけたいとの思いなのでしょう。勿論マスコミやメディアで働く人の中には良心的な人もたくさんいるし、きちんとやっている人もいるということを知って欲しいと思います。あと、マスコミやメディアを守るのは、受け手の皆さんであるということをお忘

狂歌
岸町：佐久間 純
メディアと
会食楽しむ
安倍総理
きびしき暮らし
ああそっちのけ

れないで欲しいと思います。おかしいと思ったら、投書したり、意見を出していくことが大事です。そのことが最も

がいきいきと暮らせる、元気で幸せに暮らせる、そういう課題に私は関心があります。とりうみさんは、以前から活躍されている方と存じてますが、これからも、是非そういう課題に取り組んでいただければと思います。私もやがては都内から地域で過ごすことが増えていくと思いますが、何かお手伝いできることがあれば協力したいと思っています。是非当選に向けて頑張ってください。 (まとめ：古澤 英二)

いい励みになります。

Q. メディアにかかわってこられて今お考えになっていることは？

日本人はなかなか意見を言わないですね。他国に比べおだやかです。誰かがやってくれる、お上のいうことを聞いてじっと大勢を見ている。かといって日本人に人権意識がないかということそうではない。あるのだけれども、行動に出ずとなると抵抗がある。それって一体何なのでしょう。長いものにまかれろ、なのかしら。タテ社会がぬけきらない、そういうふうに感じています。でも社会は皆さんの力でできっと変わっていくと思います。ここにきて実際に変わってきているし、更に変わって行くと思います。実はそういうことに少しでも役立ってほしいと思って、私もヴォイスレーニングの会社を始めたのです。いきいきとした発声ができるようになると、いきいきと意見が言えるようになります。

Q. 共産党へのご意見はいかがですか？

とても素晴らしい活動をしていると思います。ただいかにみんなと楽しくやるか、そこが難しいところですね。共闘しようというときに、自分だけがやったのじゃなくて、みんなでやったのだということをもっと言って欲しいと思います。一緒にやっている人から、あの人のようになりたいというイメージになるといいですね。あと政策が正しいというだけでなく、一緒に参加できるような工夫もしていただきたいと思います。もっとリラックスしてもいいんです。最近若い人に、明るくいいイメージを持った人が出てきていますね。いい傾向だと思います。

Q. 市議選に向けて、とりうみ敏行候補と共産党への応援メッセージをお願いします。

シニア世代、老人が増えてくる中で、そういう方々

寒さ吹き飛ばした赤い熱気！！

—「女の平和」運動に参加して—

前地三丁目。F. Sさん

1月17日(土)14時から国会を赤い衣服を着た女たちのヒューマンチェーンで包囲し、安倍首相に抗議しようという「女の平和」運動があり、私も真っ赤なコートを着て都内の友人と参加してきました。その日は冷たい強風が吹き荒れ、国会周辺は寒くて本当に大変でした。

それでも参加者は、赤い和服あり、ゴアテックスの上下あり、娘とお揃いの赤いマフラーあり、赤いイヤリングありと思ひ思ひの衣装で、「集団的自衛権ハンターイ、レッドカード、レッドカード安倍政権！！」などのシュプレヒコールをあげ、寒さを吹き飛ばしました。

司会者から、「ただいま国会を包囲できました」とアナウンスがあると歓声があがり、大いにアピールできたと思います。テレビや新聞でもとりあげられ、7,000名が参加したとのことでした。

後日娘から、「女の平和」ってギリシャ喜劇から来てるのよ、と教えられフーンと納得しましたが、日頃から安倍首相のやることなすこと気に入らないので、こういう集会があればまた参加したいと思います。



★埼玉大集会

2月3日(火)午後6:00開会 埼玉会館大ホール
話す人:小森陽一

★子どもたちにより良い教科書を

一育鵬社の教科書で学ぶとどうなるか(日露戦争を題材に)一

2月7日(土)午後1:30開会
市民会館うらわ603・605集会室

模擬授業:神奈川県公立中学校社会科教諭

★浦和区革新懇 市民学習・交流のつどい

「地方自治のあり方は?—今、私たちの地域でできること—」

2月21日(土)午後1:15開会

カルタスホール(北浦和駅東口クイーンズ伊勢丹3F)

★日本共産党浦和区「春のつどい」

2月22日(日)午後2:00開会

カルタスホール(北浦和駅東口クイーンズ伊勢丹3F)

講談:神田すす 落語:三遊亭鳳笑

話す人:さいたま市議選候補・とりうみ敏行

参議院候補・伊藤岳 参加協力券:500円

★埼玉革新懇・お話と音楽のつどい

2月28日(土)午後2:00開演 埼玉会館大ホール

話す人:仲代達矢

川柳

岸町:だん吉

俳句

見沼 用水

寝返りは 得意わざだよ 公明党
戦争は ゲームじゃないぞ 安倍総理
大阪を ぶっ壊す気か 橋本氏

戦なき夜を生きてこそ初現
寒椿いのち余さず咲きにけり
母と子の声もあふるる初湯かな

街角だより

床屋かとう

元町:関口 幹二

チョキチョキと軽快な手さばきで爽やかに仕上げしてくれる床屋さん。ここは本太5丁目と駒場1丁目の境にある床屋かとうさん。開業したのは姉妹のお父さんが約30年前とのこと。理容学校で理論と実務を勉強して、お父さんのお手伝いに10年余。今は姉妹の共同経営のようだ。4~5人が座ると満席になる待合室には真新しい週刊誌、月刊誌、当日の新聞が揃っていて、待つ時間を退屈させない。大きな鏡の前に座って、散髪の時でもお話も聴き上手。髪切りは無論のこと、洗髪が上手い。何と言っても髭剃りとドライヤーの仕上げは清々しい気分にしてくれる。客筋は幼稚園児から高齢者までと各年代にわたっており、永年の固定客が多いようだ。ここで一口メモ。理容師国家試験では七・三の髪分けが実技試験。価値観が多様化している現在でも七・三の髪分けが基本のようです。男のおしゃれはヘアスタイル。いつまでも長くこの街にあって欲しいお店です。

絵手紙の切り貼り

北浦和:佐藤 定輔

編集後記

今年「憲法九条」「平和」を書き込んだ賀状が多く届いた。安倍政権の「戦争できる国」づくりへの危機感からだろう。▼戦後七〇年たち、再び、新たな戦前を心配しなければならぬのだろうか。憲法九条破壊の策動、歴史の偽造など心配の種は山ほどある。▼昨年6月、「ノルマンディ上陸作戦七〇周年式典」があり、米英露独の首脳が参加した。当時の敵対した国同士で戦争犠牲者への追悼をした。戦争への反省と平和を志向する意思が感じられる。▼安倍政権はどうだろうか。日中韓でこのような平和への取り組みができるだろうか。安倍首相は、今国会で安保関連法案の成立を狙い、7月には「新談話」を発表するとう。▼増々平和から遠ざかって行ってしまうのだろうか。一斉地方選で勝利し、戦争への道をストップさせ、平和への道を手繰り寄せたい。(きよた)